

入札監視委員会等の審議概要について

令和5年度中国運輸局入札監視委員会及び発注者綱紀保持委員会が開催されましたので、審議概要を以下のとおりお知らせいたします。

開催日及び場所	令和5年11月21日	
委員	水中誠三（水中綜合法律事務所：弁護士） 木谷直俊（広島修道大学：名誉教授） 三井正信（安田女子大学：教授）	
審議対象期間	前回報告分以降 ～ 令和5年8月末	
抽出案件	総件数 31 件	(備考)
一般競争入札	23 件	
指名競争入札	0 件	
企画競争	8 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	

令和5年度中国運輸局入札監視委員会名簿
令和5年度中国運輸局発注者綱紀保持委員会名簿

(構成:3名)

氏名	職業
水中 誠三	弁護士
木谷 直俊	広島修道大学 名誉教授
三井 正信	安田女子大学 教授

令和5年度中国運輸局入札監視委員会
令和5年度中国運輸局発注者綱紀保持委員会

質問	回答
【公共調達にかかる契約について】	
一般競争入札方式について	
予定価格をたてる際の参考見積は1者のみから取得しているのか。	原則、複数者から取得している。
一者応札となっている案件が複数あるが、何か対応等を行っているか。	事業者へのアナウンスや、仕様・入札条件の見直しを行っていくことで対応していく。
ガソリン等の契約について、中国管内まとめてではなく県単位での入札等は検討しないのか。	各県での入札・契約とすると、他県出張時の給油が煩雑になること及び会計課の業務量が増えてしまうこともあり、まとめて行える入札については1つの入札・契約としている。
低落札率の案件があるが、低落札率となった理由は如何。	確認を行ったところ、企業努力により入札価格を低く設定できたとのこと。なお、低入札調査を実施し、落札事業者の履行能力や体制等に問題がないことについて確認済。
企画競争方式について	
以前に比べて企画競争の数が少ないようだが、予算の削減等何か原因があるのか。	予算削減では無く、事業のやり方が変わってきたことが原因。

<p>運輸局の観光事業はどのようなことをしているのか。</p>	<p>調査系が多い。単一の自治体では難しい、県や市等跨がる調査を国(運輸局)が行っている。</p>
<p>観光事業の費用対効果はどれほどあるのか。</p>	<p>現在行っている観光事業は、効果が出るのに時間がかかるため、現時点で判断するのは難しい。</p>
<p>企画競争で複数社入札してもらう為に何か工夫をしているか。</p>	<p>公示期間を長めに設定したり、複数の事業者に声をかける等工夫している。</p>
<p>【指名停止等の運用状況について】</p>	
<p>意見なし</p>	
<p>【中国運輸局発注者綱紀保持委員会関係規則について】</p>	
<p>意見なし</p>	

(参考)

入札監視委員会は、入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性を確保するために、平成13年4月1日から施行された「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」(平成12年11月27日法律127号)及び「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針」(平成13年3月9日閣議決定)に基づき、中国運輸局に設置されています。